

## 飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 394 回 実行なき夢は「夢のまた夢」、実行なき目標は「絵に描いた餅」

2010.12.5

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。……これは「吉田松陰」の言葉である。

夢や理想は、将来目指すべき大きなビジョンであろう。  
そのビジョンを少しずつ噛み砕いたのが「目標」というものだと思っている。  
目標を持つことの大切さは誰でも知っているが、現実的に目標を持って働いている人は、全体の3%程度だといわれている。  
多くの方は毎日なんとなく過ごしてしまう。実は、どんな仕事や生活にも目標があるはず。目標があるから意欲が生まれ、役割意識も生まれる。  
目標が曖昧では、意欲も役割意識も強くならず、その結果目標が達成できない。

目標達成の為には、目標を小さく分割することが大切だ。  
毎日の小さな目標のクリアの積み重ねが、大きな目標の達成につながる。  
「あるべき姿」をイメージし、今日の一步を進めることが大切であろう。  
その目標を達成させるには、スケジュールありきだ。  
まず行動計画を決めると、思考計画が決まり、次に準備計画が決まる。  
これが「できる人の仕事術」だ。  
優先順位は重要度と緊急度で決まる。  
つまり、スケジュールを意識することは、仕事の優先順位を意識して明確にすることで、すべてのムダがはぶかれることとなる。  
時間と空間が一つになると、勇気が湧いてきて、目標が楽しく達成できる。  
自他ともに一流と認められる人でも、  
毎日の小さな目標の積み重ねを大切にしていると思う。つまり努力を怠っていない。

行動計画が決まれば、後は行動あるのみである。  
多くの方は、今自分がやるべきことが何か、知っている。  
知らない人は論外だと気付いて頂きたい。  
でも、多くの方が中々できないのが、「知っている」ことを実行することであろう。

「知っている」から、「実行している」にならなければ本当に知ったことにはならない。  
みんな、もっと幸せになり、もっと健康になり、もっと充実した生活をしたいと思っている。  
そのためには、何をやる必要があるかを、知っている。  
真の問題は、知っていることを実行しないことにある。  
あなたが知っていることを断固たる行動をとった時、  
はじめて、実際のパワーに変わるのである。

最近の日本人は、頭が良く弁はたち、理屈は達者で文章もうまい。  
若手のスタッフはもちろん、政治家も、若手経営者も、青年会議所もそうだ。  
教育水準も世界レベルにあり、高学歴の結果であろう。  
が、何とも歪で、頭でっかちの火星人みたい、つまり行動が伴わない。  
言い放しの無責任ばかりでは、結果が出るはずがない。  
実行なき夢は「夢のまた夢」、実行なき目標は「絵に描いた餅」である。  
まず実行、やってみることである。